

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	平成30年度「福岡地区明るい選挙推進事業指導者研修会」		
期 日	平成30年11月12日（月）		
参加者	28名		
日 程	(1) 開会行事 13:30～13:35 (2) 説明 13:35～13:50 (3) 実践発表 13:50～14:15 「選挙管理委員会と学校が連携した宗像市の取組」 発表者 宗像市立日の里西小学校 指導教諭 若杉 大輔 氏 (4) 質疑応答 14:15～14:25 (5) 意見交流 14:25～15:15 (6) 休憩 15:15～15:25 (7) 講話 15:25～16:35 「主権者教育における理念と方策」 講 師 福岡大学 法学部 教授 實原 隆志 氏 (8) 閉会行事 16:35～16:40		
活動の 実際	〔 実践発表 〕 宗像市立日の里西小学校指導教諭の若杉大輔氏に、「選挙管理委員会と学校が連携した宗像市の取組」～第6学年 模擬選挙の実践から～というテーマで実践発表をしていただきました。 教師たちが実際に公約を掲げて立会演説を行ったり、宗像市の選管の協力のもと、児童が本物の投票用紙や記載台を使って投票をしたりするなど本番さながらの模擬選挙を行った様子をわかりやすく伝えてくださいました。発表を聞いた参加者からは「機会があれば是非やってみたい」や「取組を進めるために具体的な方法がわかりました」などの感想が聞かれ、今後の実践につながる有意義な時間となりました。 〔 意見交流 〕 「明るい選挙推進に向けた行政と学校の連携の在り方」をテーマとし、「行政と学校のつながりをつくること」や「連携の実現に向けた可能性を見つけること」をねらいとして意見交流を行いました。協議では、「連携できそうなこと」と「そのためにやること」を4人の班で自由に出し合いました。「投票の様子をビデオで見ると子どもたちも理解しやすいのではないか。」など、学校の要望に合うような工夫を互いに話し合う様子も見受けられました。		



〈実践発表の様子〉



〈意見交流の様子〉

活動の 実際	【 講 話 】 福岡大学法学部教授の實原隆志氏に、「主権者教育における理念と方策」というテーマで講話を行っていただきました。 「理念」の話の中では、選挙権を持たない小中学生の子どもたちにおいても、発達段階に応じて主権者教育を行っていくことの必要性について話をされました。また、選挙時だけでなく、常日頃から政治・選挙に関する国民の意識の向上を図っていく「常時啓発」の必要性と、その目標としての「投票率と投票の質の向上」についての話もされました。 「若い世代の低い投票率を上げること」や「地域への結びつきを強めること」が主権者教育の担う役割であることや「政治的教養を育む教育・学習とはどうあるべきか」ということを考えていく必要があると感じました。
全体を とおして	実践発表者の若杉氏と講師の實原氏に共通する「子どもたちが行う本物に近い模擬選挙は意義のある取組である。」という考えは、これからの若者のための選挙啓発活動において重要な考え方であるのではないかと感じさせられました。 また、子どもたちの興味・関心・意欲を引き出そうと工夫に取り組む選管のこれまでの努力や、実際に学校で取り組もうと具体的な手立てを考える教師たちの言葉・表情が、意見交流の中で多く見受けられ、これから実際に学校で選挙啓発活動が様々な形で広がっていく姿が見えてくるような研修会でした。
その他	



〈講話の様子〉